新聞 （第三種郵便物認可）

周遊型ミュージアム集客好調

柳井で6月オープン 目標の2倍ペース

宿泊増など波及策が課題

柳井市に6月オープンした「シークレットミュージアム Yanai Yamaguchi」の集客が好調だ。国の重要伝統的建造物群保存地区（重伝建）である白壁の町並み一帯を舞台とした分散周遊型ミュージアムで、当初目標の2倍のペースで市内外から来場者が訪れている。経済効果が大きい宿泊などにつなげられるかが、今後の課題となる。（加田智之）

シークレットミュージアムを楽しむ親子連れ

ズーム やまぐち

ミュージアムは、複数の建物を舞台に、アート作品の鑑賞や物語の謎解きを楽しめる。普段は入れない民家に作品が並ぶなど、非日常的な観光体験ができるのが特徴だ。11月下旬に家族4人で訪れた広島市南区の会社員上野貴晃さん(35)は「普通の観光では行かないような場所を見ることができて、面白かった」と声を弾ませた。

ミュージアムは、地元のまちづくり会社白壁柳井や市などでつくる実行委員会が開設した。土日祝日（現在は土日曜）だけの開催で、オープンした6月21日から11月末までの来場者は1730人、1日平均で約36人。当初の来場者目標である年間2千人、1日平均17人を大きく上回るペースとなっている。

謎解きを楽しむコースは平均3時間かかり、ミュージアムを目的に柳井市を訪れる参加者も多い。白壁柳井の木阪泰之社長(62)は「継続的にメディアに取り上げられるなどPRがうまくいっている。8割以上はミュージアムそのものが目当てだと思う」と話す。評価も上々で、周遊する建物を増やすことも検討している。

市は2020年3月に策定した市まち・ひと・しごと創生総合戦略で、26年の観光客数と宿泊者数の目標をそれぞれ100万人と5万5千人に設定した。24年実績は観光客約70万9千人、宿泊者約4万9千人で、底上げに向けた対策は必須だ。

ミュージアムを目当てに訪れた観光客を他の施設に誘客できれば、柳井市全体で経済効果が生まれる。市商工観光課は「ミュージアムで他の観光施設の割引券を配るなど、観光客が市内を巡る仕組みづくりを考えたい」としている。

クリック

シークレットミュージアム Yanai Yamaguchi 受け付け以外の建物の場所は非公開。各建物の店主たちが番頭となり、次の展示物がある建物の場所を教える。出題される謎を解かなければ入れない部屋もある。アクリルやプリズムに囲まれた色鮮やかな和室や青森県のねぶた師が制作した巨大な青森ねぶたなど、非日常的な展示が楽しめる。

中間貯蔵施設 大きな争点に

られる。

同町は原発計画を巡り40年以上にわたって分断が続いた。中間貯蔵施設の建設計画は、同町の分断を深刻化しかねないとの懸念もある。（加田智之）

のぞみ停車数

徳山駅増えず

JR西日本

JR徳山駅（周

幹線のぞみの

ついて、20

のダイヤ改正

9本の現状を

明らかにした

15本から9本

を受け、周南

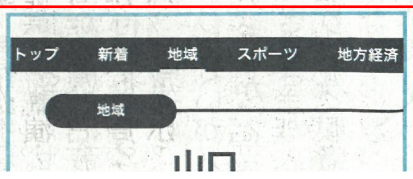
市や地元企業

需要を理由に

める活動をし

3年連続で実

た。（

JR西は

私立学校の運営費補助金の確保を求める請願1件を採択し、少人数学級実現や私学助成の増額など